



あけまして
おめでどう
ございます



扶桑町長
江戸 満

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、すがすがしいお気持ちで平成20年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の本町の財政は、緩やかな景気回復による税収増に支えられた一方、税制改正や定率減税の廃止などによる厳しさも感じた年でありました。このような状況の中で、名鉄柏森駅の落成と駅周辺整備、公共下水道の供用開始など都市基盤の整備を進めるとともに、町民の利便性の向上、庁舎機能や業務の効率化を図るため役場の組織改編を行いました。

また、公共施設・個人住宅の耐震対策などによる安全・安心の確保や雑紙類の収集を含む快適環境の整備、柏森小学校の増築、文化会館・総合体育館・扶桑中学校の改修など教育環境の整備と文化の振興、一時保育・留守家庭児童会の充実など少子・高齢化対策、ボランティア活動の促進による協働の推進等各種施策が着実に進捗しました。

このように、諸施策・事業を順調に遂行できましたのは、本町において大規模な災害や凶悪な事件が無く平穏であったこと並びに皆様のご協力とご理解をいただいたことによるものです。年頭にあたり、心から感謝を申し上げます。



総合計画シンポジウム

さて、私たちの扶桑町が、今後10年間、どんなまちづくりを目指し、それをどのように進めてゆくのかを策定した「第4次扶桑町総合計画」が平成20年度からスタートします。

この計画は、町民アンケート、未来会議での議論、部内での検討、総合計画審議会の答申を経て、議会の議決を経て推進するものであります。今後は、この総合計画に示されたまちの将来像「つなぐ手と心で咲かす大輪の花（ひまわり） 扶桑町」並びに基本理念「郷土愛と協働愛で築く自治のまち」の実現に真剣に取り組んでゆく所存であります。このためには、町民と行政が互いに役割と責任を分担し合った「協働のまちづくり」を実践していくことが、大変重要であると考えます。

平成20年度は、総合計画推進の第1年目として、次に述べます新しい事業や拡充する施策などを実行します。

子ども医療費の助成拡大、高齢者・障害者などの方々の足の確保、放課後子ども教室の試行、少人数学級の拡大、後期高齢者医療制度への円滑な移行などによる支え合いのあるまちづくり。



愛知県市町村対抗駅伝競走大会 町村の部 7位入賞

高雄小学校の耐震・大規模改修、山名保育園・中央公民館の改修、防災行政無線親局の更新、般若用水調節池の用地取得、犬山富士線の整備などによる安心・安全なまちづくり。

男女共同参画の推進、町職員の意識改革を含むボランティア活動の促進、パブリックコメント・広聴制度の充実などによる参画と協働のまちづくり。

優良企業の誘致、人事評価制度の試行、行政評価の充実、行財政改革の推進などによる時代に合った行政経営のまちづくり。

本年も内外共に情勢変化があると思いますが、少子高齢化、人口減少とこれらに伴う社会保障費の増大は避けられないと思います。また、長く回復傾向にあった景気動向にも原油高、株価の安値傾向、設備投資の鈍化などの懸念材料もあります。

このような心配材料はありますが、「住民福祉の増進を図る」地方自治の原点に立ちつつ、町職員一丸となって誠意をもって真摯に諸課題に取り組んでゆく所存であります。

なにとぞ、本年も町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の尚一層のご繁栄をお祈りいたしまして新年のご挨拶といたします。

